

# いわき農林ニュース

(ごちそう ふくしま絆づくり運動ニュース)



発行 平成22年9月21日

## 「ごちそう ふくしま絆づくり運動」いわき地方推進本部を設立

8月5日(木)、県いわき合同庁舎において、「ごちそう ふくしま絆づくり運動」いわき地方推進本部設立総会を開催しました。

県では、「生命(いのち)を支える『食』と、いきいきと暮らせる『ふるさと』の創造」を基本目標とした「福島県農林水産業振興計画 いきいき ふくしま農林水産業振興プラン」を4月からスタートさせました。

この振興プランのめざす姿を実現し、本県農林水産業を持続的に発展させるため、農林水産業者、消費者、商工業者、観光業者等の幅広い分野の方の参加により、知事を本部長とする県推進本部が7月13日に設立されました。これを受け、いわき地方の運動を具体的に推進する組織として、いわき地方推進本部を設置するものです。



(本部長あいさつ)

総会では、29の機関・団体の本部員からなる「ごちそう ふくしま絆づくり運動」いわき地方推進本部を設立し、本部長に高梨 公いわき農林事務所長、副本部長に甲高光いわき市農業協同組合経営管理委員会会長及び有賀敬四郎いわき商工会議所会頭が就任しました。

いわき地方推進本部の設立により「絆づくり運動」の推進体制が整い、平成22

年度の活動計画も承認されました。

今後さらに、様々な分野の方々との連携により、いわき地方の農林水産業を大きく育て、次世代へと引き継いでいけるよう「絆づくり運動」を推進していくこととしています。



「ごちそう ふくしま絆づくり運動」  
ロゴマーク

※ごちそうとは、福島県のおいしい食べ物、豊かな森林が産み出すおいしい空気、美しい景観、訪れる人をもてなす心などをイメージしたものです。



## 「農薬適正使用研修会」が開催されました。

8月5日(木)、いわき新舞子ハイツにおいて、新鮮やさい館出荷者等約120名が出席し、「JAいわき市ファーマーズマーケット部会農薬適正使用研修会」が開催されました。

会議では、いわき農林事務所から、農産物の安全・安心に向けた取り組みとして、農薬残留超過対策やGAP(農業生産工程管理)、エコファーマーについて説明を行いました。



(研修会の状況)

また、農薬・肥料を減らす栽培技術として、農薬散布の基礎知識や正しい施肥の方法についても説明を行いました。

生産者からは、農薬残留が発生した場合の影響や分析の実施について質問があり、これに対してファーマーズマーケット部会では、昨年19点の分析を行い、農薬残留超過がなかったことを報告しました。

そのほか生産者からは、土壌分析や病害虫診断の支援要請なども行われました。

最後に出席者全員で、農薬の適正使用については、今後も留意の上、安全・安心な農産物を市民に届けていくことを確認しました。



「合同視察研修会」が実施されました。

8月24日（火）、JAいわき中部産米改善協議会、いわきコメの会による「平成22年度合同視察研修」が行われ、両会の会員等23名が参加し、猪苗代町の「有機の里構想に基づく町づくり」及び、「猪苗代町優良堆肥製造施設」の視察研修を実施しました。

猪苗代町の「有機の里構想に基づく町づくり」の研修では、猪苗代町担い手育成協議会担い手コーディネーターの菅家文左衛門氏による講義が行われました。



（菅家氏による講義の様子）

その中で、地域内に存在する「ひと・モノ・情報」等の有形、無形のあらゆる資源を有機的に結合させて、循環させな

がら、地域の自立を図ることの大切さが説明されました。

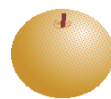
また、地域農業活性化のため、生ゴミ、家畜糞尿等地域の有機性資源を活用した堆肥を製造し、それを使用した地域物質循環型農業の大切さも説明されました。

菅家氏の講義に引き続き、「猪苗代町優良堆肥製造施設」の視察研修では、猪苗代町役場担当職員から、施設の概要、課題及び今後の展開等に関する説明を受けた後、活発な質疑応答等が行われました。



（優良堆肥製造施設の状況）

参加者は、本視察研修を通じて、生ゴミ、家畜糞尿等地域の有機性資源を活用した地域物質循環型農業の重要性を理解し、今後の農業経営に活用するため、真剣に取り組んでいる様子でした。



「JAいわき市梨選果場操業開始式」が開催されました。

8月26日（木）、JAいわき市梨選果場で操業開始式が行われました。

式では、各関係機関からの祝辞などに引き続き、比佐選果場長からトラック運転手に幟旗が手渡され、関係者一同の拍手の中、「幸水」を積んだトラックが市場に向け出発しました。

今年は、4月の低温により開花期が平年より8日程度遅れていましたが、6月以降、好適な気象状況が続いたことにより、生育の遅れを取り戻し、出荷期には



平年より5日遅れの選果場開始となりました。



(選果場長から運転手へ幟旗の引渡し)

また、果実の品質は、梅雨明け以降の高温・乾燥により、やや小振りではありますが、糖度は平年より高く、とても美味しい梨に仕上がりました。



(市場へのトラックの出発)

糖度、着色度に加え、内部障害や熟度も測定できる「透過型光センサー」により、今年も、消費者に高品質で粒揃いの良い梨をお届けしますので、安心して信頼できる美味しい「サンシャインいわき梨」を是非ご賞味ください。



## 「女性農業者育成塾（ブルーベリー加工）」を開催

8月30日（月）、いわき市田人公民館において、ブルーベリー栽培者やいわき地区生活研究グループなど13名が参加し、「女性農業者育成塾」を開催しました。育成塾では、普及指導協力委員の調理

師、大町達夫氏を講師として、豚肉と鶏肉それぞれに合わせたブルーベリーソースの作り方を研修しました。



(ブルーベリーソース作りの講義)

大町氏からは、調理に際してのアドバイスのほか、「販売するものは分量を正確に測って味を守ること」、「ソースに特徴を持たせてラインナップを充実させること」、「まずは口コミで販路を広げていくこと」など、直売所で販売する場合のアドバイスもありました。



(ブルーベリーソースを使った豚肉料理)

また、いわき農林事務所からは、ブルーベリーの栽培管理については、特にほ場の排水性に留意する必要があることなどを中心に説明を行いました。

参加者からは、ソースに使用しなかったブルーベリーの皮の利用法のほか、栽培法についての質問や意見交換が活発に行われ、関心の高さが感じられました。

今後もいわき農林事務所では、女性農業者育成塾として経営セミナーや、農産加工グループを中心としたユズの加工研修を実施していく予定です。

## いわき農林事務所からのお知らせ

- ◎「いわき de マルシェ」  
日時： 9月20日（月） 10:00～15:00 会場：小名浜さんかく倉庫2号棟  
「小名浜潮目 交流館」
- ◎「田んぼの学校」稲刈り  
日時： 9月21日（火） 10:15～ 会場：いわき市立夏井小学校
- ◎「秋のフルーツ巡り」  
日時： 9月25日（土） 10:00～15:00 会場：いわき市内（JA いわき市飯野支店発着）
- ◎「愛谷江筋見学・学習会」  
日時： 9月29日（水） 8:20～11:45 会場：いわき市立夏井小学校ほか
- ◎「食彩ふくしま地産地消推進店」認定証交付式  
日時： 9月30日（木） 15:00～16:30 会場：県いわき合同庁舎4階中会議室
- ◎「JAまつり2010」（第4営農グループ（JA いわき市三和、川前支店））  
日時：10月10日（日）時間別途 会場：いわきの里鬼ヶ城
- ◎「ごちそうふくしま満喫フェア2010」  
日時：10月10日（日）、11日（月） 10:00～17:00 11日は16:00まで  
会場：ビッグパレットふくしま（郡山市安積町）
- ◎「田人の山・光あふれる森づくり事業」 間伐・除伐体験、収穫祭  
日時：10月17日（日）時間別途 会場：田人ふれあい館研修室ほか
- ◎「いわき地方農林水産業体験ツアー」  
日時：10月23日（土） 8:30～14:00 会場：いわき市四倉町ほか

◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。

福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒970-8026 いわき市平字梅本15番地 Tel (0246)24-6152 Fax (0246)24-6196

U R L <http://www.pref.fukushima.jp/norin-iwaki/>

E-Mail [iwaki.nourin@pref.fukushima.jp](mailto:iwaki.nourin@pref.fukushima.jp)



[iwaki.nourin@pref.fukushima.jp](http://iwaki.nourin@pref.fukushima.jp)